マシンツール・ワールド
Machine Tool World

No.169

2013年4月
第15巻第1号
（通巻169号）

一般社団法人 日本工作機械工業会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8
Tel:03-3434-3961 Fax:03-3434-3763
ＵＲＬ　http://www.jmtba.or.jp

目次

1.工作機械統計･産業動向
◆米国工作機械受注統計(2月) …… 1
◆米国工作機械受注統計(地域別)…… 2
◆韓国工作機械主要統計(2013年1月) …… 3

2.主要国･地域経済動向
◆米国:PMI 51.3%(3月) …… 5
◆政府の歳出カットを懸念して米国製造業が冷え込む …… 6
◆耐久製品の受注額、飛行機需要に後押しされて増加 …… 7
◆アーカンソー州の下院審議会、製造業者への税金を引下げる法案 …… 7
◆欧州:EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(3月) …… 7
◆VDMA、EUと日本のFTA交渉開始に関する声明を発表 …… 7
◆独は世界4位の機械生産国 …… 8
◆ハノーバーメッセ、「Industry 4.0」がテーマに … 8
◆独機械業界、2月は国外受注が1%減 …… 8

3.工作機械関連企業動向
◆Hurco、インディカーのレースチームと戦略的提携を更新 …… 9
◆チェコ工作機械メーカー、ベラルーシに新工場を計画 …… 9

4.その他
◆ユーザー関連トピックス…… 9
◆お知らせ…… 13

5.日工会外需状況(3月) …… 14

1. 工作機械統計・産業動向

◆米国工作機械受注統計(2月)

AMT（米国製造技術工業協会）及びAMTDA（米国工作機械販売協会）発表の受注統計（USMTO）によると、2013年2月の米国切削型工作機械受注は、3億4,829万ドルで前月比4.7%増、前年同月比11.6%減となった。

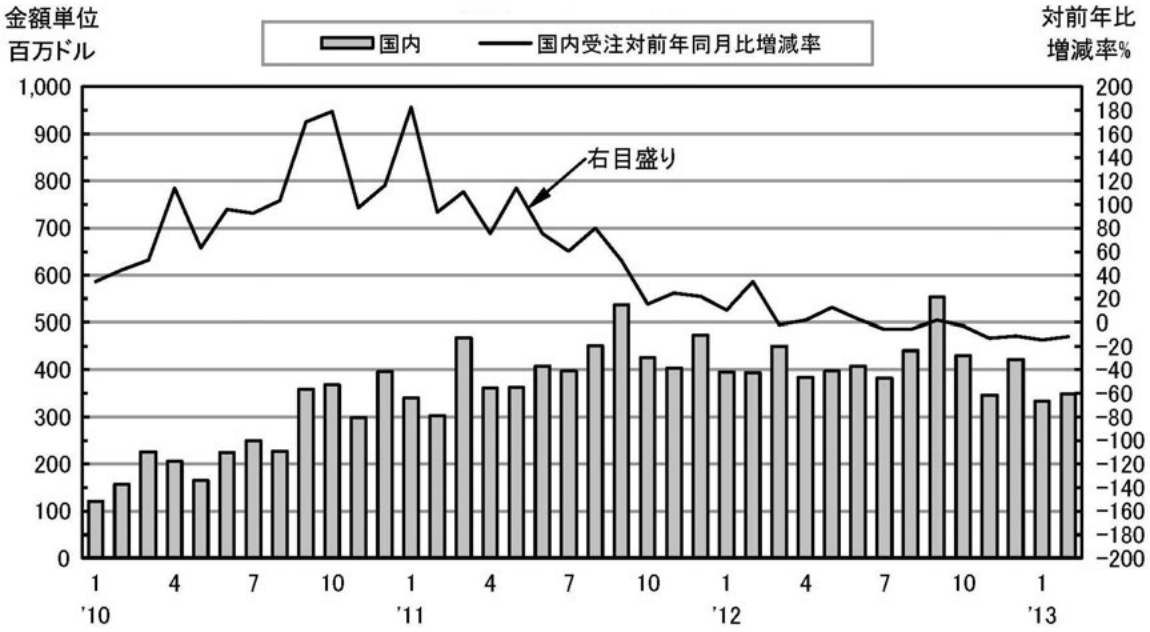
AMTのWoods専務理事は「前月比が増加したことは、良い兆候であり、これは最近の経済指標において、工場受注と耐久消費財受注等が増加したことを反映している。2012年と比較して、対前年同期比が減少していることは、2013年の前半に若干の減速を見込んでいた通りである。しかしながら、年後半の成長が、この低迷分を、相殺することが予測されている。エコノミストが、2012年と比べ、2013年は相対的に活気がないとみていることと一致している。」と述べた。

（USMTOレポート　4月8日付）

米国工作機械(切削型)受注統計
（金額単位：千ドル）

年　月	受注	
	台　数	金　額
2012年1月	1,921	394,910
2月	2,086	394,157
3月	2,355	450,653
4月	2,142	383,384
5月	2,040	396,969
6月	2,046	407,952
7月	1,901	382,403
8月	2,086	440,643
9月	2,883	553,548
10月	2,328	429,710
11月	2,179	346,460
12月	2,289	421,492
2012年累計	26,256	5,002,281
2013年1月	1,909	332,621
2月	1,892	348,288
2013年累計	3,801	680,909

工作機械受注の月次推移（米国）



◆米国工作機械受注統計（地域別）

（単位：百万ドル）

地域別		2013年2月(P)	2013年1月	前月比(%)	前年同月	前年同月比(%)	2013年累計(P)	2012年累計(R)	前年同期比(%)
全米	切削型	348.29	332.62	4.7	394.16	−11.6	680.91	787.61	−13.5
	成形型	37.60	32.43	16.0	37.47	0.3	70.03	64.90	7.9
	計	385.89	365.05	5.7	431.63	−10.6	750.94	852.51	−11.9
北東部	切削型	50.30	46.04	9.3	50.14	0.3	96.34	106.43	−9.5
	成形型	3.00	3.46	−13.4	5.68	−47.3	6.46	8.90	−27.4
	計	53.30	49.50	7.7	55.82	−4.5	102.79	115.32	−10.9
南東部	切削型	24.05	29.64	−18.9	40.35	−40.4	53.69	64.20	−16.4
	成形型	5.39	6.20	−13.1	5.73	−5.9	11.58	8.32	39.3
	計	29.43	35.84	−17.9	46.08	−36.1	65.27	72.52	−10.0
北中東部	切削型	97.69	87.28	11.9	93.08	4.9	184.97	195.62	−5.4
	成形型	14.23	8.08	76.0	9.91	43.7	22.32	20.80	7.3
	計	111.92	95.37	17.4	102.99	8.7	207.29	216.42	−4.2
北中西部	切削型	69.19	65.30	5.9	69.25	−0.1	134.49	137.89	−2.5
	成形型	11.03	5.84	88.8	12.55	−12.2	16.87	18.53	−9.0
	計	80.22	71.15	12.7	81.80	−1.9	151.36	156.43	−3.2
南中部	切削型	56.44	67.12	−15.9	92.24	−38.8	123.56	186.32	−33.7
	成形型	2.06	5.84	−64.8	1.57	31.3	7.90	5.15	53.5
	計	58.50	72.96	−19.8	93.81	−37.6	131.46	191.46	−31.3
西部	切削型	50.62	37.24	35.9	49.10	3.1	87.86	97.16	−9.6
	成形型	1.91	3.00	−36.6	2.04	−6.4	4.91	3.20	53.2
	計	52.53	40.24	30.5	51.14	2.7	92.77	100.36	−7.6

P：暫定値　R：改定値
四捨五入により合計値及び%は一致しない場合がある。
出所：USMTO

◆韓国工作機械主要統計(2013年1月)

韓国工作機械受注(2013年1月)

○業種別受注(2013.1〜1)　　(単位：百万ウォン)

需要業種	2012.12	2013.1	前月比(%)	2012.1〜1	2013.1〜1	前年同期比(%)
鉄鋼・非鉄金属	13,297	12,348	–7.1	10,065	12,348	22.7
金属製品	10,835	16,538	52.6	15,936	16,538	3.8
一般機械	21,937	22,105	0.8	20,516	22,105	7.7
電気機械	12,762	12,300	–3.6	10,134	12,300	21.4
自動車	23,275	55,614	138.9	59,790	55,614	–7.0
造船・輸送用機械	5,115	5,418	5.9	8,944	5,418	–39.4
精密機械	2,304	3,426	48.7	3,632	3,426	–5.7
その他製造業	5,448	6,847	25.7	32,921	6,847	–79.2
官公需・学校	908	772	–15.0	1,781	772	–56.7
商社・代理店	3,790	4,921	29.8	5,580	4,921	–11.8
その他	250	231	–7.6	213	231	8.5
内需合計	99,921	140,520	40.6	169,512	140,520	–17.1
外需	110,026	211,679	92.4	112,868	211,679	87.5
受注累計	209,947	352,199	67.8	282,380	352,199	24.7

出所：韓国工作機械産業協会
　注：1) %は前月から変更　2) 前年同月比%変更

○機種別受注(2013.1〜1)　　(単位：百万ウォン)

機種	2012.12	2013.1	前月比(%)	2012.1〜1	2013.1〜1	前年同期比(%)
NC小合計	159,019	312,712	96.7	236,778	312,712	32.1
NC旋盤	55,314	104,892	89.6	118,458	104,892	–11.5
マシニングセンタ	77,978	96,512	23.8	102,234	96,512	–5.6
NCフライス盤	3,772	872	–76.9	760	872	14.7
NC専用機	4,530	93,998	ー	0	93,998	ー
NC中ぐり盤	3,635	4,243	16.7	6,154	4,243	–31.1
NCその他の工作機械	13,790	12,195	–11.6	9,172	12,195	33.0
非NC小合計	32,946	11,638	–64.7	10,046	11,638	15.8
旋盤	2,976	2,578	–13.4	1,936	2,578	33.2
フライス盤	2,878	3,373	17.2	3,167	3,373	6.5
ボール盤	145	152	4.8	324	152	–53.1
研削盤	2,665	2,821	5.9	3,762	2,821	–25.0
専用機	24,011	1,113	–95.4	368	1,113	202.4
金属切削型	191,965	324,350	32.0	246,824	324,350	47.9
金属成形型	17,982	27,849	54.9	35,556	27,849	–21.7
総合計	209,947	352,199	67.8	282,380	352,199	24.7

出所：韓国工作機械産業協会
　注：1) %は前月から変更　2) 前年同月比%変更

韓国工作機械生産&出荷統計(2013年1月)

○生産(2013.1〜1)　　(単位：百万ウォン)

機種別	2012.12	2013.1	前月比(%)	2012.1〜1	2013.1〜1	前年同期比(%)
NC小合計	184,430	185,153	0.4	212,479	185,153	–12.9
NC旋盤	83,034	89,736	8.1	99,356	89,736	–9.7
マシニングセンタ	58,441	63,183	8.1	89,010	63,183	–29.0
NCフライス盤	6,445	626	–90.3	86	626	627.9
NC専用機	15,900	21,500	35.2	822	21,500	ー
NC中ぐり盤	8,244	4,459	–45.9	12,285	4,459	–63.7
NCその他	12,366	5,649	–54.3	10,920	5,649	–48.3
非NC小合計	6,326	4,682	–26.0	11,094	4,682	–57.8
旋盤	883	2,172	146.0	1,693	2,172	28.3
フライス盤	752	658	–12.5	3,956	658	–83.4
ボール盤	453	166	–63.4	85	166	95.3
研削盤	2,336	1,173	–49.8	4,098	1,173	–71.4
専用機	1,902	373	–80.4	178	373	109.6
その他	ー	140	ー	1,084	140	–87.1
金属切削型合計	190,756	189,835	–25.6	223,573	189,835	–70.7
金属成形型合計	42,303	30,148	–28.7	23,311	30,148	29.3
総合計	233,059	219,983	–5.6	246,884	219,983	–10.9

出所：韓国工作機械産業協会
　注：1) 前月から%は変更　2) 前年同月比%変更

○出荷(2013.1〜1)　　(単位：百万ウォン)

機種別	2012.12	2013.1	前月比(%)	2012.1〜1	2013.1〜1	前年同期比(%)
NC小合計	295,800	280,391	–5.2	225,267	280,391	24.5
NC旋盤	118,290	89,054	–24.7	104,172	89,054	–14.5
マシニングセンタ	110,858	67,840	–38.8	80,312	67,840	–15.5
NCフライス盤	7,265	665	–90.8	86	665	673.3
NC専用機	33,600	29,800	–11.3	20,968	29,800	42.1
NC中ぐり盤	11,777	3,800	–67.7	10,877	3,800	–65.1
NCその他	14,010	8,232	–41.2	8,852	8,232	–7.0
非NC小合計	11,651	6,883	–40.9	14,002	6,883	–50.8
旋盤	3,912	2,501	–36.1	2,339	2,501	6.9
フライス盤	3,881	1,256	–67.6	4,799	1,256	–73.8
ボール盤	505	353	–30.1	272	353	29.8
研削盤	2,451	1,405	–42.7	4,538	1,405	–69.0
専用機	150	1,018	578.7	270	1,018	277.0
その他	752	350	–53.5	1,784	350	–80.4
金属切削型	307,451	287,274	–6.6	239,269	287,274	20.1
金属成形型	62,973	33,395	–47.0	28,930	33,395	15.4
総合計	370,424	320,669	–13.4	268,199	320,669	19.6

出所：韓国工作機械産業協会
　注：1）前月から%は変更　2）前年同月比%変更

韓国工作機械輸出統計(2013年1月)

○機種別輸出(2013.1〜1)　　(単位：百万ウォン)

機種別	2012.12	2013.1	前月比(%)	2012.1〜1	2013.1〜1	前年同期比(%)
NC小合計	140,716	88,059	–37.4	112,709	88,059	–21.9
NC旋盤	69,284	45,911	–33.7	62,679	45,911	–26.8
マシニングセンタ	46,297	30,767	–33.6	34,627	30,757	–11.2
NCフライス盤	3,148	548	–82.6	1,745	548	–68.6
NC専用機	0	0	ー	0	0	ー
NC中ぐり盤	7,312	3,590	–50.9	5,622	3,590	–36.1
NCその他	14,675	7,252	–50.6	8,036	7,252	–9.8
非NC小合計	15,794	9,590	–39.3	6,147	9,590	56.0
旋盤	1,332	335	–74.9	572	335	–41.5
フライス盤	4,244	706	–83.4	693	706	1.9
ボール盤	658	646	–1.8	548	646	17.8
研削盤	1,615	2,663	64.9	655	2,663	306.5
専用機	42	14	–99.7	0	14	ー
その他	7,903	5,226	–33.9	3,678	5,226	42.1
金属成形型合計	91,385	54,193	–40.7	25,189	54,193	115.1
金属切削型合計	156,510	97,649	–76.7	118,856	97,649	34.1
総合計	247,895	151,842	–38.7	144,044	151,842	5.4

出所：韓国通関局
　注：1）前月から%は変更　2）前年同期から%は変更

○仕向け国別輸出(2013.1〜1)　　(単位：千USドル)

機種別	アジア	中国	インド	アメリカ	欧州	ドイツ	トルコ
NC小合計	34,360	19,272	6,383	25,003	23,842	9,228	3,352
NC旋盤	10,806	4,656	3,591	14,996	17,018	7,237	2,739
マシニングセンタ	15,651	13,016	667	8,166	5,757	1,506	306
NCフライス盤	69	0	8	0	480	480	0
NC専用機	0	0	0	0	0	0	0
NC中ぐり盤	2,208	91	2,117	942	0	0	0
NCその他	5,626	1,508	0	899	587	6	307
非NC小合計	7,244	4,280	595	392	1,251	226	21
旋盤	171	78	0	123	0	0	0
フライス盤	211	22	0	17	400	57	2
ボール盤	589	436	0	0	1	0	0
研削盤	2,602	1,783	527	0	59	58	0
中ぐり盤	14	14	0	0	0	0	0
その他	3,657	1,947	69	252	791	111	18
金属成形型合計	35,069	3,328	23,836	10,422	3,013	3	1,832
金属切削型合計	41,604	23,552	6,978	25,395	25,395	9,596	3,373
総合計	76,673	26,880	30,814	35,817	28,106	9,457	5,204

出所：韓国通関局
　注：1）前月から%は変更　2）前年同期から%は変更

韓国工作機械輸入統計（2013年1月）

○機種別輸入（2013.1〜1）　（単位：百万ウォン）

機種別	2012.12	2013.1	前月比（%）	2012.1〜1	2013.1〜1	前年同期比（%）
NC小合計	66,157	66,683	0.8	55,131	66,683	21.0
NC旋盤	4,896	6,220	27.0	4,978	6,220	24.9
マシニングセンタ	13,684	19,912	45.5	14,310	19,912	39.1
NCフライス盤	1,810	3,554	96.4	1,877	3,554	89.3
NC専用機	0	0	ー	0	0	ー
NC中ぐり盤	948	2,090	120.5	2,392	2,090	–12.6
NCその他	44,819	7,011	–84.4	31,572	34,906	10.6
非NC小合計	14,812	14,012	–5.4	18,660	14,012	–24.9
旋盤	1,785	2,438	36.6	1,731	2,438	40.8
フライス盤	780	375	–51.9	1,409	375	–73.4
ボール盤	527	424	–19.5	639	424	–33.6
研削盤	4,647	1,536	–66.9	2,568	1,536	–40.2
中ぐり盤	36	33	–8.3	0	33	ー
その他	7,037	9,206	30.8	12,314	9,206	–25.2
金属成形型合計	25,461	23,945	–6.0	23,090	23,945	3.7
金属切削型合計	80,969	80,695	–0.3	73,791	80,695	9.4
総合計	106,430	104,640	–1.7	96,882	104,640	8.0

出所：韓国通関局
注：1）前月から%は変更　2）前年同期から%は変更

○輸入国別（2013.1〜1）　（単位：千USドル）

機種別	アジア	日本	台湾	アメリカ	欧州	ドイツ	イタリア
NC小合計	34,169	25,103	2,817	2,326	27,764	9,650	1,977
NC旋盤	4,695	3,947	155	321	1,204	1,204	0
マシニングセンタ	11,434	9,407	1,094	746	7,732	2,126	0
NCフライス盤	1,034	961	5	0	2,520	1,643	877
NC研削盤	0	0	0	0	0	0	0
NC中ぐり盤	1,534	1,530	0	0	556	336	0
NCその他	15,471	9,257	1,562	1,259	15,752	4,341	1,100
非NC小合計	9,038	6,050	1,374	971	3,996	2,303	1,000
旋盤	2,131	1,602	211	6	301	47	0
フライス盤	142	105	0	10	222	84	116
ボール盤	350	251	16	52	22	5	0
研削盤	1,378	597	357	29	130	21	0
中ぐり盤	25	25	0	0	8	0	8
その他	5,011	3,470	790	874	3,313	2,147	877
金属成形型合計	9,567	4,632	2,117	7,930	6,146	874	2,229
金属切削型合計	43,207	31,153	4,191	3,297	36,802	11,953	8,027
総合計	52,773	35,785	6,308	11,227	37,906	12,827	5,206

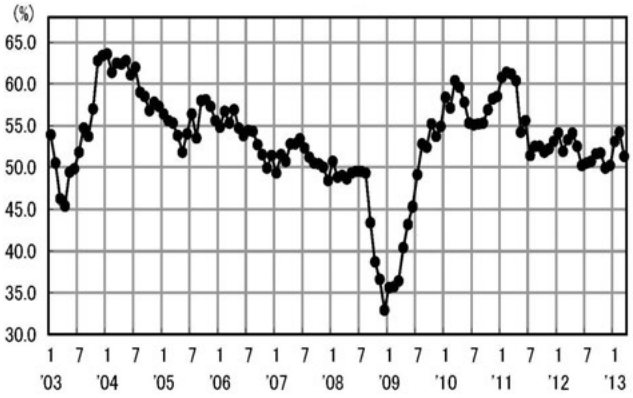
出所：韓国通関局
注：1）前月から%は変更　2）前年同期から%は変更

2. 主要国・地域経済動向

◆米国：PMI 51.3%（3月）

米サプライ・マネジメント協会（ISM）の購買管理指数（PMI：製造業350社以上のアンケート調査に基づく月次景況指数）の3月の調査結果について、ISMは次のようにコメントしている。「PMIは51.3%で、2月の54.2%から2.9ポイント減少したものの、ゆっくりとしたペースながら4か月連続景気拡大傾向となった。新規受注、生産指数は、それぞれ51.4%、52.2%とスローペースではあるが、前月比増であった。雇用は、前月の52.6%から1.6ポイント増加して、54.2%となった。価格指数は、7ポイント減少し、54.5ポイントで、価格上昇品目の項目は、前月より減少した。さらに、受

ISM指数の推移



注残、輸出、輸入は、今月増加した。」

なお、3月の製造業の景況感について、対象18業種中、次の14業種が「企業活動を拡大した」と回答している。木工製品、家具類、プラスチック・ゴム製品、電気機器・家電製品・部品、金属製品、紙製品、アパレル＆皮革製品、雑貨、繊維機械、非金属鉱産物、コンピューター・電気製品、輸送機械、印刷・同関連サービス、鉄鋼・非鉄鋼、食品・飲料・たばこ製品。

ISMが発表した3月の主要個別指数の前月比変動傾向は以下の通り。

項　目	2013年3月指数	2013年2月指数	備　考
ISM指数(PMI)	51.3	54.2	前月比2.9ポイント減少。PMIが42.2％を超えると経済全体の拡大を示唆。
生　産	52.2	57.6	前月比5.4ポイント減少。拡大の基準である51.2を7か月連続超えた。13業種が増加を報告。
新規受注	51.4	57.8	前月比6.4ポイント減少。4ヶ月連続増加。拡大の基準は52.2である。12業種が増加を報告した。
受注残高(季節調整なし)	51.0	55.0	前月比4.0ポイント減少。8業種が増加を報告した。
サプライヤー納期	49.4	51.4	前月比2.0ポイント減少。長期化の基準は、50以上。7業種が長期化を報告した。
在　庫	49.5	51.5	前月比2.0ポイント減少。拡大の基準42.7ポイントを上回った。7業種が在庫増を報告した。
雇　用	54.2	52.6	前月比1.6ポイント増加。10業種が増加を報告した。
仕入れ価格	54.5	61.5	前月比7.0ポイント減少。10業種が上昇を報告した。
輸出受注	56.0	53.5	前月比2.5ポイント増加。4ヶ月連続増。12業種が増加を報告。
原材料輸入	54.0	54.0	前月比±0。9業種が増加を報告した。

（ISM Manufacturing Report on Business　2013年4月1日付）

◆政府の歳出カットを懸念して米国製造業が冷え込む

4月1日：3月の製造業は、受注と生産の冷え込みから成長率は予想を下回り、連邦予算の削減実施にともない、今四半期に米国経済が減速するリスクが浮き彫りになった。製造業では、昨月、住宅関連業界と自動車関連業界がその他の業界を上回る成長を示した。これは、消費者支出が拡大するとともに、輸出が1年ぶりに急速に成長したためと考えられる。また一方、議会では赤字削減の妥協案が見出せなかったため、3月1日から連邦支出の全体的な850億ドルカットが始まっており、製造業の工場が慎重な姿勢を取る根拠となっている。商務省によると、建設プロジェクトへの支出額は2月に1.2％増加し、住宅建設支出額は4年ぶりの高い水準となった。

ニューヨークのJPモルガン・チェース社の経済専門家は、消費者支出と住宅建設の見通しが改善されたのを受けて、第1四半期の予想成長率を年率換算で2.7％から3.8％に上方修正した。政府の支出カットの開始にともない、世界最大の米国経済はこの四半期に1.8％で成長するというのが、3月にブルームバーグ社が調査した経済専門家からの平均的な予想である。連邦議会が赤字削減の妥協案を見出せなかったため、先月から自動的に財政支出カットが開始されており、これが経済に与える影響と政府政策には懸念が持たれている。9月までの会計年度予算の削減額は、国内の機関から5％、国防総省からは8％削られることになる。所得税率は米国の最富裕層に対して引き上げられ、給与支払税も2％引き上げられる。

自動車販売額は、2007年以来最高の水準に達すると予想されており、住宅関連業界とともに、製造業を大きく活気付けている。2月の消費者支出額は、給与支払税の2％引上げを目前にしながらも5ヶ月ぶりの高水準に達したことが、商務省から発表された。雇用率の増加も、消費者支出が増加した一因である。米国経済の約12％を占める製造業は、2012年半ばの業況減速から立ち直ったといえよう。3月26日の商務省の発表によると、耐久製品の受注額は、前月に3.8％落込んだ後で2月には5.7％増加し9月以来の最高値となった。米国経済は、2012年第3四半期に年率換算で3.1％の成長を

見せた後、第4四半期には0.4%と冷え込んだ。
（http://www.bloomberg.com/news/2013-04-01/ism-index-of-u-s-manufacturing-decreased-to-51-3-in-march.html）

◆耐久製品の受注額、飛行機需要に後押しされて増加

3月26日：商業用飛行機の需要急増に後押しされて、米国の2月の耐久製品受注額が増加した。2月の耐久製品の総受注額は、前月比で5.7%増加し、これは月間成長率として5ヶ月ぶりに高い数字である。商業飛行機の受注額は変動が大きいものだが、1月に前月比24%減少した後に、2月は同95.3%の増加となった。また、自動車や自動車部品の受注額は3.8%増加し、7月以来の高い水準となった。変動幅の大きい輸送部門を除くそのほかの耐久製品の受注額は0.5%の減少となった。耐久製品とは、3年以上使用することを想定した製品のことである。耐久製品の受注額は、月によって大きく変動する。
（http://www.manufacturing.net/news/2013/03/durable-goods-orders-rise-on-aircraft-demand）

◆アーカンソー州の下院審議会、製造業者への税金を引下げる法案

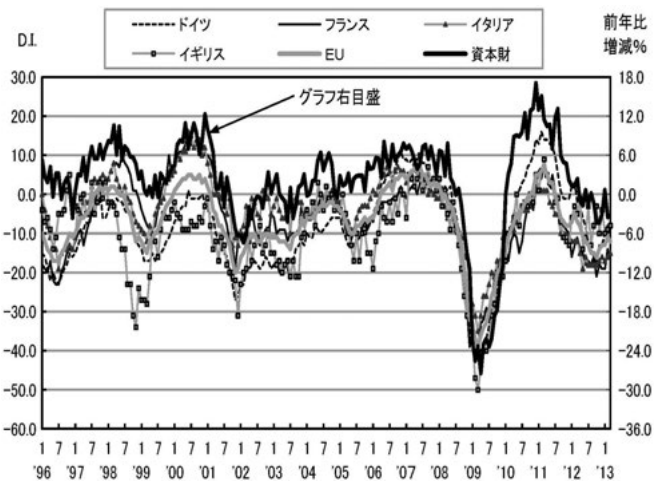
4月3日：アーカンソー州の下院歳入課税委員会は、同州の製造業者への税金を引き下げる法案を承認する採決を行い、下院全体の審議にかけるため法案を下院本会議へ送った。州の財政担当者は、同法案によって州の歳入は来年1,400万ドル減り、その翌年にはおよそ2,500万ドル減ると推定している。同法案は、同州に製造業を誘致すると期待されている。議会の有力議員らは、1億ドルの包括的な減税策を交渉しているが、州所得税率の引下げがその半分以上を占めている。
（http://www.manufacturing.net/news/2013/04/ark-house-panel-oks-tax-cut-for-manufacturers-0）
（http://www.recreationalflying.com/threads/aircraft-manufacturer-renegade-light-sport-invests-2-million-to-relocate-to-area.59107/）

◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数（D.I.）と資本財生産月次推移（3月）

欧州委員会が発表した2013年3月のEU主要国製造業景気動向指数（D.I.）（修正後）によると、EU全体では1ポイント減であった。国別では、ドイツが2ポイント減、フランスが3ポイント減、イタリアが1ポイント増で、イギリスは1ポイント増加した。

一方、ユーロ圏の資本財生産については、2013年2月は前年同月比で3.5%減となった。なお、2013年3月の数字は未発表である。

EU主要国製造業景気動向指数（D.I.）と資本財生産月次推移



（欧州委員会Monthly Survey of Manufacturing Industry及びIndustrial Production調査）

◆VDMA、EUと日本のFTA交渉開始に関する声明を発表

欧州連合（EU）と日本は3月25日、自由貿易協定（FTA）に向けた交渉を正式に開始した。初回協議は4月15日から19日までブリュッセルで開催される予定。

ドイツ機械工業連盟（VDMA）の対外貿易部門を統括するアッカーマン理事はこの件について「日本とのFTA交渉に対し、われわれは開かれた態度で臨む」との立場を明らかにした。

あまり知られていないが、ドイツから日本へ機

械を輸出する際の関税および非関税障壁は、今日すでに撤廃されており、ドイツ市場で機械を販売する日本企業も同様の待遇を受けている。このような状況にありながら、ドイツ機械業界の対日貿易収支は大きな赤字に陥っている。アッカーマン理事は「これは両国が異なる経済構造を持つことに加え、日本にサプライヤが集中していることに起因する」との見解を示した。

ドイツの機械およびプラントエンジニアリング分野の貿易額（2012年）は、日本への輸出が計22億ユーロ（国別で20位）にとどまったのに対し、日本からの輸入は37億ユーロ（同6位）に達している。

（Press Release　2013年3月25日付）

◆独は世界4位の機械生産国

ドイツ機械工業連盟（VDMA）が3日発表した2012年の世界機械・設備市場規模は前年比10%増の2兆2,500億ユーロ（サービスを除く）となり、過去最高を更新した。ドイツは売上高が3%増の2,500億ユーロで、生産国別のランキングで4位に付けた。

世界最大の生産国は中国で、前年比20%増の6,780億ユーロに達した。2位は米国（17%増の3,300億ユーロ）、3位は日本（4%増の2,660億ユーロ）で、ドイツとともに2位グループを形成している。5位のイタリアは1,040億ユーロにとどまった。

アジアは世界生産全体の50%を占めており、トップテンには中国、日本のほか、韓国（11%増の740億ユーロでランキング6位）、インド（8%減の310億ユーロでランキング10位）も入った。

売上シェアを生産国別でみると、トップの中国は30.1%に達した。米国は14.7%、日本は11.8%、ドイツは11.1%だった。

（Press Release　2013年4月3日付）

◆ハノーバーメッセ、「Industry 4.0」がテーマに

世界最大の産業見本市ハノーバーメッセが7日夜、開幕した。今年は世界62カ国から6,504社が出展。国外からの出展者数は初めて国内勢を上回った。パートナー国となったロシアからは過去最大の160社が参加した。

今回は生産プロセスの制御と情報技術（IT）の融合を通して工業の歴史に新たな地平を切り開く「Industry 4.0」がメインテーマに選ばれた。これはインターネットの「Web 2.0」をもじった表現で、蒸気機関の発明に伴う18世紀後半の産業革命を「Industry1.0」、ベルトコンベアを利用した20世紀初頭の大量生産化を「Industry 2.0」、1970年代に始まったオートメーション化を「Industry 3.0」と定義している。

Industry4.0はこれに続く生産技術の革新で、例えば大量生産を維持しつつ同じ生産ラインで同時に様々な製品を製造する。部品にバーコードやRFIDチップを搭載することで、製造装置と部品が相互に情報をやり取り。様々な種類の製品を量産できるようにする。このほか、省エネや生産性の向上などの効果も期待できる。

Industry 4.0が実用化されるのは10年以上先と予想されており、今回の見本市ではIndustry 4.0につながるアイデア製品などが展示された。

（Frankfurter Allgemeine Zeitung　2013年4月8日付）

◆独機械業界、2月は国外受注が1%減

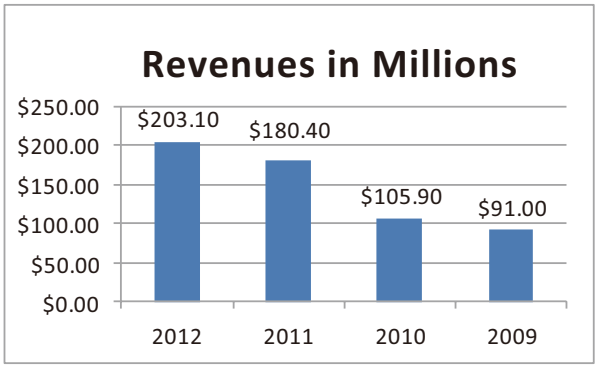
ドイツ機械工業連盟（VDMA）が3月27日に発表した今年2月の機械受注高は前年同月比で、国外受注が1%減少した。国内は2%増加した。一方、2012年12月から2013年2月までの3カ月では、国内が1%減、国外が2%増だった。VDMAのエコノミストは、「EU域内および域外の受注が低迷している」と述べ、国外受注の低迷が今後しばらく続くとの見方を示した。

（Press Release　2013年3月27日付）

3. 工作機械関連企業動向

◆Hurco、インディカーのレースチームと戦略的提携を更新

3月10日：Hurco Companies, Inc.は、IZODインディカー•シリーズの新シーズンに向けて、パンサー•ドレイヤー＆レインボールド•レーシング（Panther Dreyer & Rein bold Racing：DRR）との政略的提携を更新した。パンサーDRRチームは、ハルコを同チーム専属のCNC工作機械として選び、2011年以来、同チームの3万平方フィートのインディアナ工場でHurco5軸VMX42SRとミルターン旋盤TMX8MYSを利用して部品を作っている。ハルコ社は、主に立形マシニングセンタおよびターニングセンタからなるNC制御工作機械の設計、製造、販売を行っており、世界的な販売、サービス、流通ネットワークを通じて世界の金属加工業界に提供している。同社のNC制御システムとソフトウェア製品には特許があるものの、同社が圧倒的に多く利用しているのは、業界標準パソコンコンポーネントである。上記のグラフを見ると良くわかるように、Hurcoは不況を見事に乗り切った。Hurcoは、財政規律を重んじる伝統を持っており、このため一貫してテクノロジーと製品開発に投資をすることができ、最も経済の変動が激しかった時期にさえ収益を伸ばすことができた。



（http://www.hurco.com/en-us/about-hurco/newsroom/press-releases/archive/2013/04/03/hurco-renews-partnership-with-indycar-race-team.aspx）

◆チェコ工作機械メーカー、ベラルーシに新工場を計画

チェコ工作機械メーカーのフェルマット（Fermat）はベラルーシに工場を開設する計画だ。独ニュースサイト『Nov-ost.info』がベラルーシの学術•技術当局（GKNT）から得た情報として伝えた。

新工場の面積は約4,000平方メートルで、従業員数は150～200人、売上高は年2,000万～2,200万ユーロを見込んでいるという。建設地や操業開始時期などの詳細は明らかにしていない。

（Dow Jones　2013年3月18日付）

4. その他

◆ユーザー関連トピックス

独ボッシュ、南京にアフターマーケット用品の新工場開設

独自動車部品大手のボッシュは20日、中国の南京に建設していたアフターマーケット用部品の新工場を稼働した。点火プラグ、ブレーキパッド、修理工場向けの診断装置などを生産する。投資は約1億2,000ユーロで、研究開発センターも併設した。

同工場の製品は主にアジア・太平洋地域の顧客に供給する。中国を中心にアジア・太平洋地域では市場成長が見込まれており、新工場の建設により生産能力を拡大した。また、研究開発センターの建設により、市場の変化により迅速に対応できる体制を整えた。

新工場の生産能力は、2015年に最終工事が完了すると、点火プラグが年約1億2,500万個、ブレーキパッドは年8,000万個、修理工場向けの診断装置は約2万5,000ユニットとなる。従業員数は現在、約2,000人。2015年までに約3,500人に増える予定。研究開発センターでは、100人を超えるエンジニアが勤務する予定となっている。

（Press Release　2013年3月20日付）

Meyer Burger売上半減、増資へ

スイスの太陽電池パネル製造装置メーカーMeyer Burger（トゥーン）が25日発表した2012年の売上高は6億4,524万スイスフランとなり、前年の13億1,504フランから半減した。太陽電池の世界的な供給過剰を背景に同社製品の需要が大きく減少。営業損益（EBITDAベース）も前年の黒字（2億7,837万フラン）から3,317万フランの赤字に悪化した。最終損益は3,586万フランの黒字から1億1,590万フランの赤字へと転落している。

同社は売り上げの81％をアジア向け販売が占める。昨年は特に、主要市場の中国向けが大きく落ち込んだ。

Meyer Burgerは業績悪化を受け、株主割当増資を実施することを明らかにした。約1億5,000万フランを調達する方針。

経営陣は今年も赤字が続くと予想している。昨年実施したコスト削減プログラムの効果で、売上高が5億フランに達すればEBITDAベースで損益分岐点を確保できるものの、売上高は約4億フランまで減少する見通しという。

（Reuters　2013年3月25日付）

デンソー、ポーランドで自動車用メーター生産

デンソー（愛知県刈谷市）は3月28日、ポーランドで自動車用メーターを生産すると発表した。欧州における自動車用メーターの供給体制を強化するのが狙い。

4月5日付けでムイスウォヴィツェに生産子会社デンソー・ポーランド（資本金460万ズロチ）を設立する。8月から生産を開始し、チェコに拠点がある韓国の現代自動車などに製品を供給する。

デンソー・ポーランドの2015年度の売り上げは1億400万ズロチ（約30億円）、従業員は約70人を見込んでいる。

（Press Release　2013年3月28日付）

マグナ、中東欧に新拠点も

カナダの自動車部品大手マグナ・インターナショナルが自動車の受託生産事業で中東欧に新たな生産拠点を設けることを検討している。量産車を受託生産する方向という。独業界紙『アウトモビールボッヘ』（AW、オンライン版）が2日付けで報じた。

マグナは欧州では、塀子会社のマグナ・シュタイヤーがグラーツ拠点で受託生産を手がけている。AW紙によると、同子会社のギュンター・アプファルター社長は、新たな受注を確保できれば中東欧で生産することも検討する方針であるとした。グラーツ工場で高級ブランドのモデルを、中東欧の新拠点では量産車を受託生産する方向という。

グラーツでは現在、MINIの「ペースマン」や「カントリーマン」、メルセデスベンツの「Gクラス」やプジョー「RCZ」、メルセデスベンツのスポーツカー「SLS AMG」の車体などを生産している。

（Automobilwoche　2013年4月2日付）

独コンティネンタル、スロバキアでの生産強化

自動車部品大手の独コンティネンタルがスロバキア北西部のプホフにある工場でタイヤ生産能力を増強する。2億5,000万ユーロを投資して新しい生産施設を設置する計画で、600人を新規雇用する見通し。同国のロベルト・フィツォ首相が8日、明らかにした。

同社は今回の投資の見返りとして、優遇税制の適用を受ける。政府との趣意書締結は今週中にも行われる予定だ。

コンティネンタルは2007年、マタドール・グループのタイヤ・ベルトコンベヤ部門（マタドール・ラバー）を買収してスロバキアに工場進出。現在はプホフのほか、パルティザンスケ、ズヴォレンなど4カ所に拠点を持つ。

（APA　2013年4月8日付）

米国マグナ・パワートレイン社、インディアナ州マンシーに1,150万ドルを投じて拡大

3月26日：自動車コンポーネントを製造する米国マグナ・パワートレイン（Magna Powertrain）社は、1,150万ドルを投じてインディアナ州マンシーの製造センターを拡大することを計画している。マグナ・パワートレイン社は、自動車部品サプライヤーのマグナ・インターナショナル（Magna International）社の子会社であり、パワートレインシステムとコンポーネントを世界の自動車業界に提供している。同社は、マンシーで2つの工場を運転しており、両工場合わせて日産35,000個の駆動系コンポーネントを生産している。

（http : //www.areadevelopment.com/newsitems/3-26-2013/magna-powertrain-manufacturing-center-expansion-muncie-indiana248903.shtml）

GM社、6製造工場のアップグレードに3億7,800万ドルを投資

4月4日：GM社は、先頃3億3,180万ドルの投資計画を発表したが、さらに4,600万ドルを追加して、6工場のアップグレードのために総額3億7,800万ドルを投資することとなった。その内訳は以下のとおりである。

- ミシガン州フリントのエンジン工場に新しい小型エコテック（Ecotec）ガソリンエンジンのために2億1,500万ドル。エコテックは新しいシリーズのエンジンで、3気筒か4気筒、排気量は1.0から1.5リッターまでと幅がある。同工場でどのタイプを作るかは後ほど発表されるが、同工場はまた、現在のV6エンジンのためにツーリングのアップグレードを予定している。
- トレドのトランスミッション工場に5,570万ドル。生産能力の増強と、最新の先進8速オートマティックトランスミッションと既存の6速トランスミッションのためのツーリングが行われる。トレド工場で作られる8速トランスミッションは、2016年末までに多数のGM車に使用される予定である。
- ベイシティのパワートレイン工場に3,170万ドル。このうち、1,920万ドルが新しいV6エンジンのコンポーネントの生産に、残りの1,250万ドルが小型エコテックガソリンエンジンのコンポーネントを生産するために投資される。
- ベッドフォードのキャスティング工場に2,940万ドル。このうち、1,900万ドルが小型ガソリンエンジンのコンポーネントの生産に、1,040万ドルが新しい8速トランスミッションと既存の6速トランスミッションのコンポーネントを生産するために投資される。
- サギノーの金属キャスティング工場へ4,100万ドル。既に発表されている投資計画と合わせて、同工場には2億5,600万ドルが投資されることになる。新しいV6エンジンのキャスティングを生産する。
- ロミュラスのエンジン工場に500万ドル。既に発表されている投資計画と合わせて、同工場には3億9,000万ドルが投資されることになる。新しいV6エンジンを生産する。

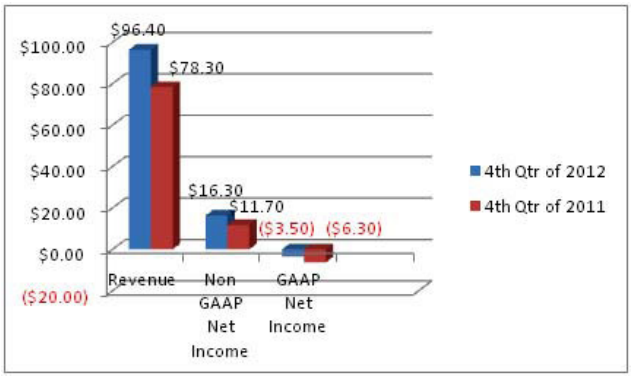
（http://www.areadevelopment.com/newsItems/4-4-2013/general-motors-upgrades-manufacturing-sites-indiana-michigan-ohio347891.shtml）

ストラタシス社、2012会計年度第4四半期の会計報告で力強い伸び

3月4日：3次元造形機メーカーのストラタシス社（Stratasys Ltd. : SSYS）は、2012年度第4四半期の合算会計報告を発表した。これは、2012年12月1日にオブジェット社（Objet Ltd.）との合併が完了した後の、初めての四半期会計報告となる。2012年度第4四半期の収入は9,640万ドルで、前年同期に記録された7,830万ドルから23％の増加となった。第4四半期の非GAAP（一般会計原則）純利益は1,630万ドル、1株当たり＄0.40となり、前年同期の1,170万ドル、1株当たり＄0.30から40％の増加となった。第4四半期のGAAP純利益は350万

ドル（1株当たり＄0.09）の損失となり、一方、前年同期は630万ドル（1株当たり＄0.17）の損失であった。

「我が社の会計報告は、世界で積層造形への関心が急速に高まり、我が社の製品への需要が増大していることを示しています。我々のテクノロジーによって製品の設計や製造の方法をどのように作り変えられるか、多くの企業が認識しつつあります。」ストラタシス社CEOのデイビッド・レイス氏は述べる。ストラタシス社とオブジェット社の合併によって、同社は260もの再販業者と独立販売代理店の世界ネットワークを得て、それぞれの製品とサービスを組み合せて世界に提供できるようになった。この関係の中で同社は包括的な統合計画を始めており、そのひとつの交差訓練プログラムによって、再販業者と販売代理店ネットワークが製品とサービスの合体したポートフォリオを取扱えるようになる。同社は、この交差訓練プログラムが18ヶ月以内に完了し、より有能な再販ネットワークが誕生することを期待している。同社は、見積非GAAPベースで2012年の収入の9.3%に当る正味3,330万ドルを研究開発費に費やしており、これは見積GAAPベースでは10.3%の3,690万ドルとなる。同社の研究開発への投資は、第4四半期に多くの新製品を生み出した。



（http://investors.stratasys.com/releasedetail.cfm?ReleaseID=744770）

Great Wall社、中国市場鈍化で海外にシフト

深刻な大気汚染、そして国中で悪化する交通渋滞の影響で、中国自動車市場成長の可能性は、限定されることは明確である。中国自動車工業会の見通しによれば、2013年の販売増加は、3年連続一桁台となりそうである。

新車需要は、低迷気味で、コスト圧力は増加している。かつての自動車産業にとっての簡単な利益は、終わりを遂げた。中国自動車ブランドは、厳しい状況に備えなくてはならない。この状況において、Great Wall Motor（長城汽車）社は、強力に海外市場に進出するという見通しを示した。

スポーツ仕様モデルの売上好調を背景に、Great Wall Motor社　は、SAIC MotorとDongfeng Motorに続いて、市場売上額で中国第三位のメーカーとなった。国内市場の好調を受けて、同社の輸出も芳しい結果となった。2012年、中国から輸出された、現地生産の自動車11台のうち1台の割合でGreat Wall社の輸出が見られた。

民間の自動車会社は、現行レベルの13.67%から総収益における輸出率を順調に伸ばしている。海外販売を拡大するため、海外組立工場を設立することを検討している。実際のところ、Dongfeng社は、欧州市場への足掛かりとしてブルガリアに工場を設立している。

さらに、マレーシアとブラジルの組立工場の計画があるという情報もある。これが事実であるならば、この投資は将来性のある東南アジアと南アメリカ市場において、Dongfeng社のブランドの認識と浸透を大いに強めることとなるであろう。

（EJ Insight　3月25日付）

HAL、Rolls-Royce、インドに工場設立

Hindustan Aeronautics Ltd.とRolls-Royceの合弁事業は、インドに生産拠点をオープンした。バンガロールのInternational Aerospace Manufacturing Ltd.は、航空機エンジンのRolls-Royce Trentと、船舶、ガスタービンの部品を製造している。

HAL社は、インド空軍が使用するJaguar航空機用Rolls-Royce Adour 804/811エンジンとHawk先端

ジェット練習機用MK871エンジンのメーカーである。

「最近のRolls-Royceの製造技術の統合生産施設は、インドに熟練工とエンジニアの仕事の場を創出した。」とHAL社、常務理事のNaresh Babu氏は述べた。

同施設は、2500万ドルで建設された、77,500平方フィートの施設である。今年生産を始めると、コンピューターによる管理システム、金属溶射ブース、非破壊テストライン、最新鋭工作機械を保有するという。

（UPI　3月18日）

◆お知らせ

この度、韓国・COEX Changwonより本年11月に韓国・昌原市で開催されます工作機械展示会の広報依頼が参りましたので、お知らせ致します。

展示会名 ： MATOF 2013（International Machine Tools & Parts Fair）
会　　期 ： 2013年11月6日（水）～9日（土）
場　　所 ： 韓国・昌原展示場（Changwon Exhibition Convention Center〈CECO〉）
規　　模 ： 450ブース、150社、20か国
運　　営 ： 韓国・慶尚南道・昌原市
主　　催 ： CECO、韓国工具産業協会、KNN
特　　典 ： 出品者　• 1～4小間無料（先着5社まで）
• 1社につき、1名様4泊無料宿泊ご招待
バイヤー　• 2泊無料宿泊及び片道無料航空券提供（先着10名様）
（エコノミークラス、居住地からの直行便のみ）
• 無料観光へご招待
特典受付7月31日まで、先着順。所定の用紙へ記入して頂きます。
問い合わせ ： 担当者：Jake Lee，　Coex Changwon
e-mail：jake@coex.co.kr
Tel：+82-55-212-1011　Fax：+82-55-212-1200
http://www.matof.co.kr

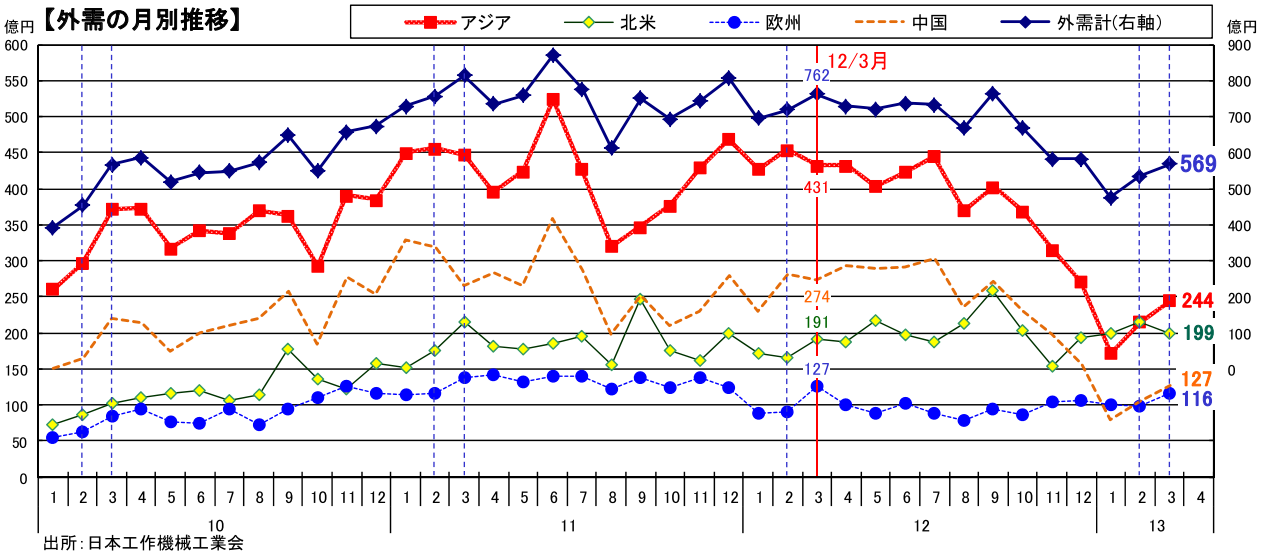
5. 日工会外需状況(3月)

外需 【3月分】

568.9億円（前月比＋6.2%　前年同月比△25.3%）

外需総額

・前月比　2カ月連続増加　　前年同月比　6カ月連続減少
・2カ月連続の500億円超
・主要3極では、北米が前月から減少したが、アジア、欧州は増加



外需 【3月分】

主要3極別受注

①アジア

・アジア計は、2カ月連続の200億円超
・中国が2カ月連続で前月比増加し、東アジアは、3カ月ぶりの150億円超
・その他のアジア（インド、ASEAN等）計は、2カ月連続の70億円台。タイが前月の反動で減少したが、インドの増加により2カ月連続で前月比増加
・前年同期比では、中国の減少、その他のアジアの反動減の影響等で、アジア計でも減少が継続

②欧州

・欧州計は、EU主要国を中心に前月から増加し、2カ月ぶりの100億円超
・前年同月比は3カ月ぶり減少
・欧州は横ばい圏内の動きが継続

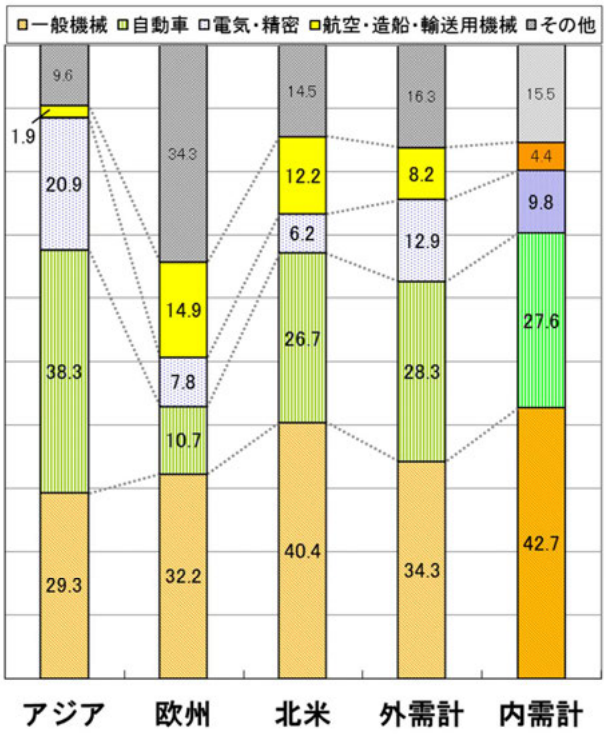
③北米

・北米計は、4カ月ぶりの前月比減少で、若干だが3カ月ぶりに200億円を下回る
・前年同月比は3カ月連続増加と依然堅調さが継続

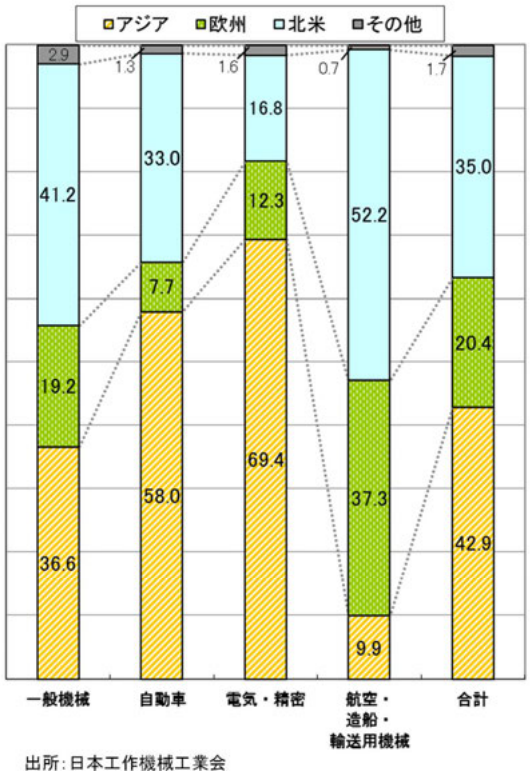
国・地域	受注額（億円）	前月比（%）	前年同月比（%）
アジア	**244.0**	**＋13.6 2カ月連続増加**	**△43.4 6カ月連続減少**
東アジア	**165.2**	＋20.5 2カ月連続増加	△46.4 5カ月連続減少
中国	**127.2**	＋21.2 2カ月連続増加	△53.6 5カ月連続減少
その他のアジア	**78.8**	＋1.6 2カ月連続増加	△35.9 6カ月連続減少
タイ	**24.2**	△30.9 2カ月ぶり減少	△55.9 6カ月連続減少
インド	**17.8**	＋157.7 4カ月ぶり増加	△23.6 4カ月連続減少
欧州	**116.3**	**＋19.1 3カ月ぶり増加**	**△8.1 3カ月ぶり減少**
ドイツ	**38.4**	＋57.1 3カ月連続増加	△22.4 17カ月連続減少
北米	**198.9**	**△7.3 4カ月ぶり減少**	**＋4.4 3カ月連続増加**
アメリカ	**165.8**	△17.5 4カ月ぶり減少	△0.3 3カ月ぶり減少

外需 【3月分】

主要3極別・業種別受注構成

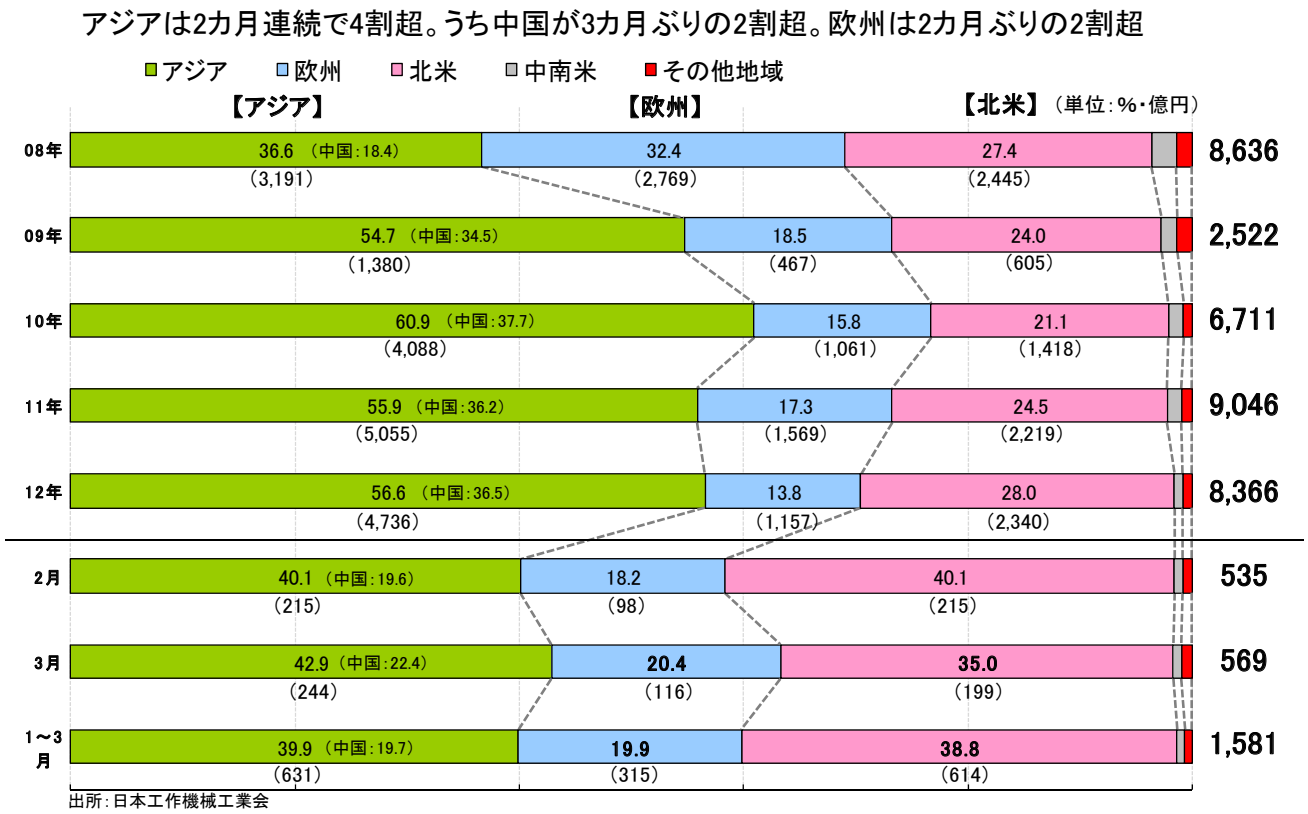


出所：日本工作機械工業会



出所：日本工作機械工業会

外需 地域別構成の推移



出所：日本工作機械工業会